



ネズミの害から 建物や食品を守る

捕獲106page

忌避・侵入防止107page

忌避108page

殺鼠108page

調査112page

ネズミ対策

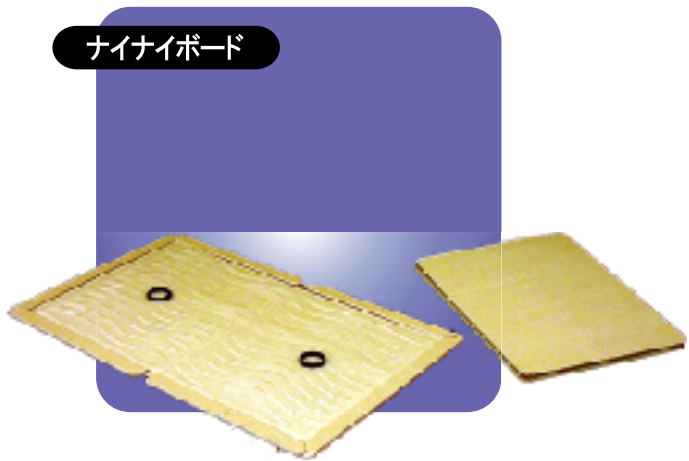
		ナイナイボード	ラットトラップ マウストラップ	シャーマントラップ	ビックスナップ	防カシ エカネパンチメタル	バイバイラット マウスレス	ナラマイシンエソール	ラット・レイ BT	ロガードエリート	ロガードクラシック
捕 獲	生捕り			○							
	汚さない	○		○							
	汚す		○		○						
忌 避 ・ 殺 鼠	侵入防止					○		○			
	寄付けない						○				
	毒餌用								○	○	○

クマネズミの防除

ウィリアム・ロビンソン博士



ナイナイボード



クマネズミの効果的な防除法は以下のような重要事項を理解することから始まります。

長期戦 ネズミ防除は長期プログラムでなければなりません。短期間での効果はほとんどなく、何らかの「作業計画」や作業プログラムを練ることが必要です。顧客が「素早い解決」を望んだ場合は、通常それは不可能であり「素早い解決」の効果はしばしば「素早く消失」して問題が再発してしまうということを説明すべきです。数週間でネズミの問題を解決するなどとは間違っても約束してはなりません。まずなすべきことは、ビルや現場に適した固有のプログラムをデザインすることです。それぞれの現場は全て異なりますし、ネズミの繁殖状況にも多少の違いがあります。プログラムは現場に適したものでなければなりません。

侵入阻止

ネズミの防除プログラムは「侵入阻止及び予防」から始まります。PC0によってビルや現場が隈なく調査された後の最初の作業がこれです。ここにおける戦略とはネズミをビルから追い出すことであり、ビルをできる限り「ネズミの侵入から守る」わけです。外部から侵入するネズミを阻止しない限り、ビルの内部で使用するトラップやベイト剤の効果は期待できないでしょう。防除は重要な作業であり、たいていは顧客の協力が必要となります。ネズミが侵入することのできる全ての場所を塞がねばなりません。ネズミは直径2.5～7.5cmのパイプなら登ることができますから、このようなパイプが外部にある場合は、登れなくするような処理が必要です。ドアや通気口の間隙も封鎖する必要があります。建築物を徹底的に調査してネズミの侵入口を全て見つけてください。

知識とプログラム

クマネズミは非常に生命力の強い動物で、様々な場所に侵入し、生き抜くことができます。この種の害獣を駆除及び防除することは簡単ではありません。これを成し遂げるためにはプログラムが不可欠です——単にトラップを試したり粘着トラップやベイト剤を設置するだけではいけないのです。最も効果的な防除とは、クマネズミの生態に関する知識と、様々な繁殖場所での経験を有したPC0が適格なプログラムにしたがって初めて達成されます。このネズミ防除プログラムにもいくつかの重要な要素があります：1) ビルの内外及びその周辺地域の調査——ネズミが食物あさりや巣作りに利用しそうな場所を探します。2) ビルの調査——ネズミがどのようにビルへ侵入し脱出するかの経路を、日中及び夜間の双方について調査します。3) トラップ及びベイト剤の選択と設置——殺鼠剤を仕掛ける前の事前調査のために無毒餌をどこに仕掛けるか、トラップや粘着トラップなどの設置場所を決定します。

防除戦略

効果的な防除手法を決定するにあたり、クマネズミの生態や習性のいくつかが重要になってきます。ビル外部の調査や、ビル内部においてネズミの移動経路や食物調達場所を探す際には、以下のことを念頭においてください：

ジャンプ

クマネズミの成獣は真上に50cm、まっすぐに1メートルもジャンプできます。つまり巣を作ったり食物を探すためにある程度高い場所にも移動できるわけです。このジャンプするという習性は防除に利用できます。ネズミはジャンプによって手すりやテーブルの上などのはっきり見えない場所に移動するわけですから、これらの場所は粘着トラップの設置場所に適していると言えるのです。

パイプ

ネズミは細いパイプを登ることができますが、壁に接している太い(7.5cmくらい)パイプを登ることもできます。また、壁の角や粗い表面を伝って移動することも可能です。ビル外部にある排水パイプや水道パイプなどのパイプ類は必ずネズミ防除策を講じる必要があります。また、ビル内部のパイプはネズミの移動経路になっているので、パイプに沿ってパチンコわなや粘着板を仕掛ける格好な場所です。PC0はビルを最初に調査する際、まず足元を見下ろして窓やドアのすきまといったネズミの侵入経路を探し、次に頭上を見上げてネズミがジャンプして潜り込むことのできる隙間を探す必要があるのです。

巣

クマネズミは通常、屋内の高い場所に巣を作ろうとしますが、安全な隠れ場所(積み上げられた箱や何ヶ月も置きっぱなしの荷物など)さえあれば、床下やその他開けた場所に巣を作ることもあります。この種のネズミは地面に穴を掘って巣を作ることは普通はありません。クマネズミの通常のすみかは地面よりも高い場所、及び屋内です。

異種ネズミの存在

クマネズミはドブネズミと同じビル内で共存することがあり、時にそれは長期間に及びます。ドブネズミはクマネズミと比べて体も大きく攻撃的でクマネズミを力づくで追いやって(時には攻撃して殺して)しまうのですが、高いところには登れません。したがって天井やその他高い場所にクマネズミが、地面付近にドブネズミが巣を作るというような棲み分けをしてビル内外でエサをあさることも可能なのです。

食物

クマネズミの好む食物は野菜、果物、なかでもサツマイモが大好きですが、新鮮な野菜は何でも好んで口にします。ドブネズミはこれと異なり肉類やその他生ゴミをあさります。その点でも、これら2種のネズミは同じ場所に生息して食物を争う必要もないのです。

■毒餌とトラップ戦略

毒餌 殺鼠剤の使用は常に難しい選択ですが、これは特に大きなビルや食物を扱う施設に言えることです。(アメリカで許可されている)今日の殺鼠剤は、ネズミがほんの一口食ただけで効果を発揮し、そのネズミは数日後に死亡します。問題はこれらのネズミがどこで死ぬかです。開いた場所で死んだ場合は取り除けばいいのですが、壁の裏で死んだ場合などは悪臭の問題が新たに生じることになります。無毒餌による前処理を活用することは非常に効果的な戦略でしょう。ネズミはエリア内に出現した新しい食物に対しては数日から1週間ほど警戒して近寄らないことを覚えて置いてください。それから少しずつ試食を始め、その後定期的に口にできるようになるのです。前処理によって毒餌剤の効き目を早めることができるのです。

トラップ 単数／複数捕獲トラップは効果が期待でき、どんな現場でも(食物を扱っていてもいなくても)使用が可能で、死骸による悪臭の問題もほとんどありません。当然ながら、毎月これらトラップをチェックしてきれいに清掃する必要があります。

粘着トラップ これも効果的ではありますが、人の往来のある場所では使用できず、24時間以内にチェック・撤去しなければなりません。粘着トラップもネズミを捕らえることはできますが、それには肢や体の一部が一瞬にして粘着部に捉えられる必要があります。粘着ボードはネズミがジャンプして着地しそうな場所に設置するとよいでしょう。

■「ベイトートラップの2ステップ処理」

2ステップ戦略とは、ベイト及びトラップ処理を2回行なう処理のことです。

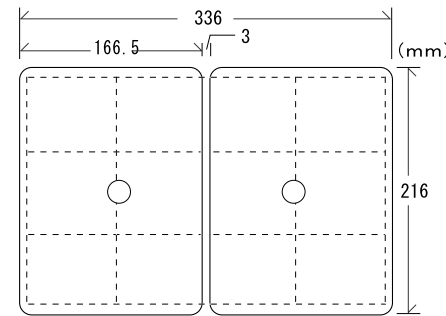
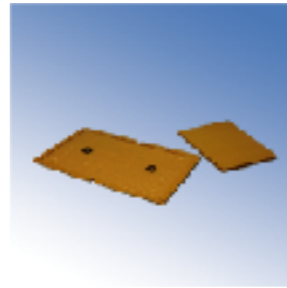
まず第1のステップでは生息集団において優勢を占めるオス個体の駆除を目的とします。これらオスの個体は広い食物探索テリトリーを持ち、そのため他の個体は狭いテリトリーに押しやられています。防除プログラムのこの段階においては、トラップ、粘着トラップ、(必要なら)殺鼠剤を広い範囲に設置します。優勢なオスは繁殖場所の100～200 フィート先までを移動しています。これらの個体は体も大きいため、多くの食物を必要とするのです。生息数が多い場合は前処理を実施することをお勧めします。これによって大型のオス個体をできる限り早く駆除することができます。毒餌とトラップまたは毒餌と粘着トラップを組み合わせで使用します。第2のステップは、優勢なオスネズミを駆除した後に残ったメスネズミの駆除です。押しやられていたメスネズミのテリトリーは狭いのですが、優勢だったオスがいなくなると拡大します。第2ステップのトラップは50～100フィート(15～30m)の範囲内に設置します。ネズミ防除の2ステッププログラムはネズミ集団の2つの階層：1)大きい優勢オスネズミと2)残りのメスネズミを駆除することを目的としています。これには2段階のトラップと殺鼠剤処理が必要となり、処理完了までに数ヶ月を要します。しかしプログラムの中に「侵入阻止及び予防」作業が含まれていなければ効果は期待できないでしょう。

目 的	製品の特長
捕 獲	ナイナイボード、ラット・マウストラップ、シャーマントラップ (生け捕り)、ビックスナップ
忌 避	ネズミを寄せ付けない → バイバイラット、マウスビーズ
侵入防止	侵入経路の遮断 → キクネン、パンチングメタル、防そブラシ、ナラマイシン塗料(エアゾール)
殺 鼠	毒餌の定置や誤飲誤食防止 → ロガードエリート、ログードクラシック、ラットレイ、散粉機による殺鼠剤の散布

ネズミの害から建物や食品を守る

捕獲

ナイナイボード



超耐水紙仕様
(100枚)

0005380



乾燥エリア仕様
(100枚)

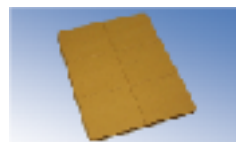
0005375



ブックタイプの粘着トラップで簡単に設置することができ、また、再び閉じての保管も可能です。
効果的な設置方法は床一面に数多く置くことによって捕り逃がしを防ぎ、より効果が得られます。

特長

- 1) 折り目の工夫で現場に合わせた設置が可能
- 2) 高性能な特殊粘着剤を波状に塗布
- 3) 袋に入れても破れにくい“丸カド”処理
- 4) フチが浮かないホットメルト加工



縦横に折り目があります。縦折での使用例

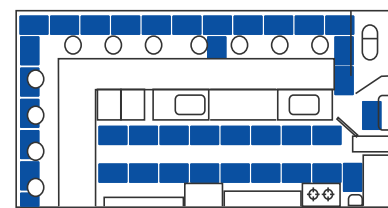


横折での使用例

配置のポイント

- 1) ネズミは決して端や隅だけを動き回るわけではありません、安全が確認できれば餌を求め所かまわず跳ね回ります。
- 2) 床が水や油で汚れていると粘着が効きにくくなりますので、床に新聞紙などをひいてから粘着板を設置してください。

注)
超耐水紙仕様と
乾燥エリア用は
設置箇所に
応じて
しっかり
使い分けましょう



ナイナイボード設置例



より良い結果を出す為に...

最初の何日かは仕掛けを解除した状態で、ネズミの好みの餌をトラップに置いて、何度か食べさせ馴らした後に、一斉に仕掛けると効果的です。ネズミは部屋の壁際に沿って走りますので、トラップは壁に対して直角に餌がある方を壁につけて配置します。トラップの下に新聞紙などを敷いて床の汚れを防ぐ方法もあります。

製品仕様

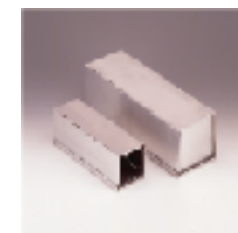
商品名	ナイナイボード(超耐水仕様)	ナイナイボード(乾燥エリア仕様)	シャーマンアライブ®トラップ® S	シャーマンアライブ®トラップ® L
メーカー	hohtoオリジナル	hohtoオリジナル	H. B. シャーマントラップ® S(米国)	H. B. シャーマントラップ® S(米国)
商品コード	0005380	0005375	0001715	0001716
サイズ	W336×D216mm	W336×D216mm	W50×H65(15)×D175mm	W76×H90(15)×D230mm
発注単位	100枚	100枚	1個	1個

捕獲／忌避・侵入防止

捕 獲

シャーマンアライブトラップ

7号登録



ネズミの生け捕り用トラップ。トンネル内の床部分にネズミが乗ると、入口が閉まる仕掛けになっています。傷を付けず捕獲できる為、野生動物調査機関でのネズミ生息調査用に広く使われています。折りたたみの構造で持ち運びに便利です。

シャーマンアライブ
トラップ S

0001715



シャーマンアライブ
トラップ L

0001716



忌避・侵入防止

キクネン

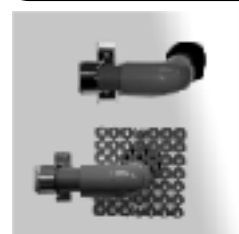


耐寒、耐熱性に優れた非硬化パテを使用していますので、気密性・水密性に優れています。手にべとつかないので、作業性がよく、取り除きも簡単です。また、忌避剤の「ナラマイシン」を練り込んでいますので、防噛効果を発揮します。

0005661



パンチングメタル



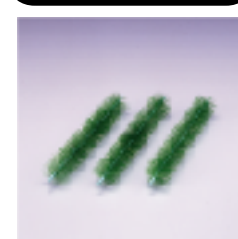
ネズミの侵入口の穴埋めを目的としたアルミ製のボードです。角材の角に押し当て、手で曲げることで、簡単に好みの大きさにカットすることができます。

0002021



国内メーカー製
材質 アルミ製
厚み 1mm
サイズ 500×1000mm
発注単位 1枚

防鼠ブラシ



ネズミの侵入口、通路、パイプ等に差し込んだり、巻きつけたりすることにより、ネズミの侵入を防止します。

0002061



製品仕様

商品名	キクネン	パンチングメタル	防鼠ブラシ
メーカー	日東化成工業	国内メーカー製	三共アグロ
商品コード	0005661	0002021	0002061
サイズ	1kg	500×1000mm	W270×H55×D55mm
発注単位	10個	1枚	100個